

【株主のみなさまへ】

第66期 中間報告書

2020.4.1～2020.9.30

グループ経営理念

山一電機グループは、人・企業・社会・地球とのより良い結びつきを柔軟な技術力と発想力をもって意欲的に創造する「もっとしなやかにベターコネクション」をコーポレートスローガンに、お客様の価値創出に貢献します。

1

人の尊重

人を育て、人を活かし、
会社の発展と
個人の幸せの共有を
目指します。

2

企業価値の最大化

株主をはじめとしたステーク
ホルダーの要請に応え、
適正利潤を追求し、
企業価値の最大化を目指します。

3

企業品質の向上

信頼の最大の基盤である
優れた製品品質と企業品質を
提供することによって、
顧客の満足を図ります。

4

技術立社への挑戦

開発型企業として、
たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、
半歩先をゆく技術を提供します。

5

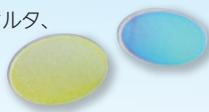
社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、
社会から信頼される企業で
あり続けます。

セグメント別売上高構成比と主要な事業内容 (2020年9月30日時点)

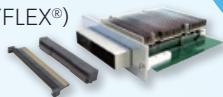
光関連事業 6.0%

RGBフィルタ、蛍光ダイクロイックフィルタ、
ショート/ロングパスフィルタ、
半導体レーザ光源



コネクタソリューション事業 43.7%

コネクタ、実装用ICソケット、
フレキシブルプリント配線板(YFLEX®)



売上高
14,064
百万円

テストソリューション事業 50.3%

検査用ICソケット、プローブカード、
FPC検査用ソケット、
半導体テストサービス



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
2021年3月期第2四半期(2020年4月1日から9月30日まで)の事業概況をお届けし、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 太田 佳孝



当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大が続く中で、期初においては各国での経済活動が停滞し、景気は急激に減速しました。第1四半期後半からは各国にて段階的に経済活動の再開が進み、景気回復の兆しが見られるものの、新型コロナウイルス感染症に加え、強まる米中貿易摩擦の影響もあり、総じて厳しい環境の中で推移しました。

このような状況の下、第1四半期にはフィリピンの主力工場が、新型コロナウイルス感染症の影響を受け生産活動を一時停止しましたが、行政への確認および調整を実施し、従業員の安全確保を最優先したうえで、生産活動早期再開に取り組み、段階的に従業員の確保と生産活動の回復を進め、生産を継続してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 14,064百万円(前年同期比 4.3%増)、営業利益2,113百万円(前年同期比 23.7%増)、経常利益 2,043百万円(前年同期比 11.0%増)となりました。

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況に加え、強まる米中貿易摩擦の影響により、先行きが見通しにくい状況が続くと予想から、適正かつ合理的に算定することが困難であるため未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。売上高27,000百万円(前期比 0.0%減)、営業利益 3,000百万円(前期比 2.1%減)、経常利益 2,850百万円(前期比 7.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益 2,150百万円(前期比 19.0%減)としております。

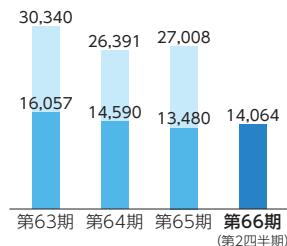
なお、中間配当につきましては、1株当たり10円といたしました。未定としておりました期末配当につきましては、配当性向30%を基準に1株当たり20円、通期では30円を予定しておりますが、最終配当金額につきましては、2021年3月期 期末決算時の純利益額にて調整させていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

■ 連結業績ハイライト

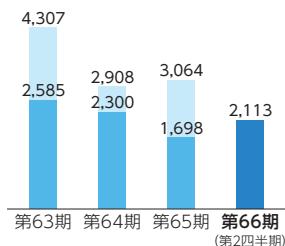
売上高

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



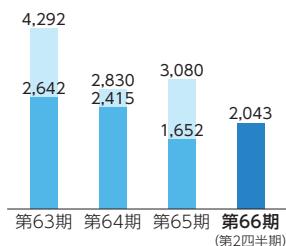
営業利益

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



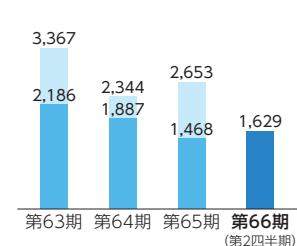
経常利益

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



セグメント情報

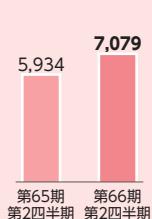
テストソリューション事業

検査用ICソケット、プローブカード、FPC検査用ソケット、半導体テストサービス

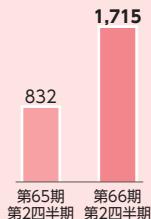
売上高構成比
50.3%

(単位：百万円)

売上高

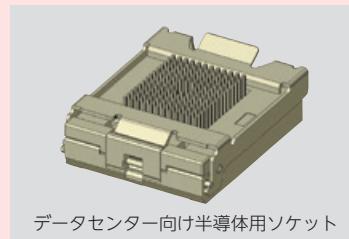


営業利益



データセンター向け半導体用ソケットのラインアップ拡充

ビデオ会議やオンライン授業、オンライン診療といったリモート社会の実現が進み、通信インフラやデータセンターで使われるロジック半導体の需要が増加しています。当社ではご好評をいただいております超多ピンに対応した構造と操作性、放熱機能等オプションにも考慮したデータセンター向け半導体用ソケットのラインアップを拡充いたしました。今後もお客様ニーズにお応えする技術開発に取り組み、最適なテストソリューションを提供してまいります。



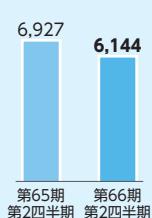
コネクタソリューション事業

コネクタ、実装用ICソケット、フレキシブルプリント配線板 (YFLEX®)

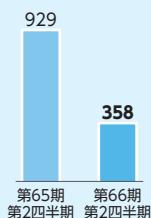
売上高構成比
43.7%

(単位：百万円)

売上高



営業利益



400ギガbpsイーサネット対応 光通信モジュール用コネクタをラインアップ

イーサネット伝送の基幹通信システム市場では、100ギガbps伝送の次の規格として400ギガbps伝送の開発が全世界で活発化しております。100ギガbps基幹通信システム市場にて大きなシェアを獲得している当社CFP2シリーズをベースとして、安定した長距離光通信を可能とするために、高電流に対応した400ギガbps伝送対応コネクタの販売を開始いたしました。当社保有の技術力をもって開発が可能となり、市場ではOnly One製品となります。今後、5G通信の拡大と共に、更なる伝送データ容量の増加と伝送性能の高速化が加速する市場へ対応するために、市場トレンドを先取りし、市場より先行した製品開発を進めてまいります。



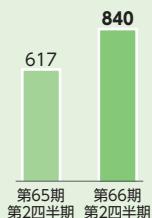
光関連事業

RGBフィルタ、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、半導体レーザー光源

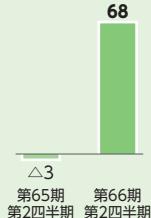
売上高構成比
6.0%

(単位：百万円)

売上高

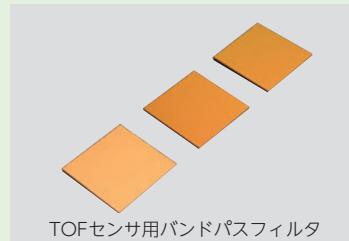


営業利益



広角度入射に対応可能な TOFセンサ用バンドパスフィルタを開発

TOF (Time of Flight) センサは、自動運転支援システム (ADAS) に導入が進むLiDAR (Light Detection and Ranging) のコアデバイスになっており、モーションセンシングや拡張現実 (AR) との融合を目指してスマートフォンにも搭載が始まっています。このTOFセンサの性能向上には、広角度からセンサへ入射する光の中からセンシング用レーザー光を高精度に選別できるバンドパスフィルタが必要不可欠となっています。光開発部門では、広角度入射対応に不可欠な光学薄膜製造技術を開発いたしました。



トピックス

佐倉事業所 ESG対応で自家発電設備導入完了

2019年の台風15号で千葉県内にて大規模停電が発生し、弊社佐倉事業所も稼働停止に追い込まれました。生産設備と情報システムの稼働を継続的に維持するために太陽光システムと蓄電池を導入いたしました。また、甚大な災害時には近隣の方々の避難所としての活用計画も進行中です。



設置場所：山一電機株式会社 佐倉事業所
所在地：千葉県佐倉市大作1-4-1
PVパネル仕様：445W×1,530枚
パワコン仕様：50kW×10台(実質発電量:500kW相当)
NAS電池仕様：容量2,400kWh、出力400kW
稼働：2020年11月

導入目的

- BCP対応** 安定した再生可能エネルギーと蓄電池で停電に強い生産工場構築
- 環境対応** 電力費の削減と共に、化石燃料の削減でCO2削減につなげる
- 地域貢献** 発電した電力を使い、甚大な災害時に事業所を避難所として活用できるように整備計画が進行中

ドイツ 新工場へ移転完了

2005年ドイツ工場設立時から段階的に隣接する3工場まで拡張を進めましたが、生産効率の向上の目的から新工場を建築し集約いたしました。



会社名：Yamaichi Electronics Deutschland Manufacturing GmbH
所在地：Nikolaus August Otto Str. 3, 15236 Frankfurt (Oder), Germany
設立：2005年10月
新工場用地：25,620㎡
新工場建屋：6,814㎡ (製造エリア:5,148㎡ 事務エリア:1,666㎡)
完成時期：2020年6月 移転稼働:2020年6月

連結財務諸表

■ 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (2020年9月30日現在)	前期末 (2020年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	19,690	18,954
現金及び預金	8,629	9,259
受取手形及び売掛金	5,673	4,909
たな卸資産	4,168	3,579
その他	1,219	1,205
固定資産	14,235	12,939
有形固定資産	12,701	11,382
無形固定資産	137	132
投資その他の資産	1,396	1,424
資産合計	33,926	31,893
負債の部		
流動負債	7,000	6,696
支払手形及び買掛金	1,331	1,484
短期借入金	2,926	2,723
その他	2,742	2,488
固定負債	2,536	1,842
長期借入金	20	250
その他	2,516	1,592
負債合計	9,536	8,539
純資産の部		
株主資本	25,066	24,035
資本金	10,084	10,084
資本剰余金	1,775	1,775
利益剰余金	15,390	14,360
自己株式	△ 2,183	△ 2,183
その他の包括利益累計額	△ 983	△ 979
新株予約権	186	181
非支配株主持分	120	116
純資産合計	24,389	23,354
負債純資産合計	33,926	31,893

■ 第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	14,064	13,480
売上原価	8,869	8,643
売上総利益	5,194	4,837
販売費及び一般管理費	3,080	3,138
営業利益	2,113	1,698
営業外収益	50	71
営業外費用	120	117
経常利益	2,043	1,652
特別利益	0	125
税金等調整前四半期純利益	2,043	1,778
法人税、住民税及び事業税	393	334
法人税等調整額	18	△ 26
四半期純利益	1,631	1,469
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,629	1,468

■ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,190	1,515
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 965	△ 619
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 798	△ 1,477
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 55	△ 143
現金及び現金同等物の増減額	△ 629	△ 725
現金及び現金同等物の期首残高	9,259	8,318
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,629	7,593

会社概要 (2020年9月30日現在)

■ 会社の概要

商号	山一電機株式会社
所在地	東京都大田区南蒲田2丁目16番2号
設立	1956年11月
資本金	100億8,410万円
従業員数	376名 (連結 1,858名)
主な事業内容	1. テストソリューション事業 2. コネクタソリューション事業 3. 光関連事業

■ 株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	23,329,775株
株主数	5,521名
単元株式数	100株
大株主	

株主名	持株数	持株比率
	株	%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	4,833,900	22.57
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,512,500	11.73
株式会社日本カストディ銀行 (信託口9)	850,100	3.97
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	670,000	3.12
RE FUND 116-CLIENT AC	562,700	2.62
株式会社日本カストディ銀行 (証券投資信託口)	533,200	2.49
日本生命保険相互会社	421,075	1.96
山一電機従業員持株会	375,888	1.75
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	358,737	1.67
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	329,100	1.53

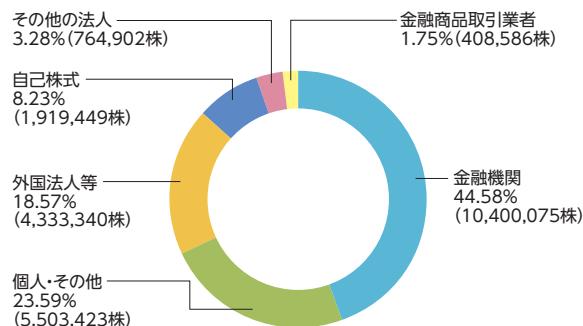
(注) 1. 当社は、自己株式を1,919,449株所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式1,919,449株を控除して計算しております。

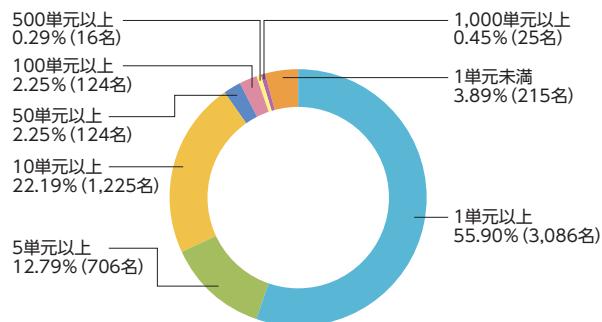
■ 役員

代表取締役社長	太田 佳孝	常勤監査役	加藤 勝市
取締役	亀谷 淳一	社外監査役	岡本 忍
取締役	土屋 武	社外監査役	村瀬 孝子
取締役	松田 一弘		
取締役	岸村 伸洋		
社外取締役	村田 朋博		
社外取締役	佐久間 陽一郎		
社外取締役	依田 稔久		

■ 所有者別株式数分布状況



■ 所有株数別株主数分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日綱町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第1部:証券コード6941)
公告の方法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IRサイトのご案内

IR情報はホームページからもご覧になれます。

<http://www.yamaichi.co.jp/ir/tabid/87/Default.aspx>



今後も、「株主のみなさまへ」の情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

山一電機株式会社

〒144-8581 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号
☎03-3734-0115 (代表) ☎03-3734-0120
ホームページアドレス <http://www.yamaichi.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

